

福井県国民保護計画

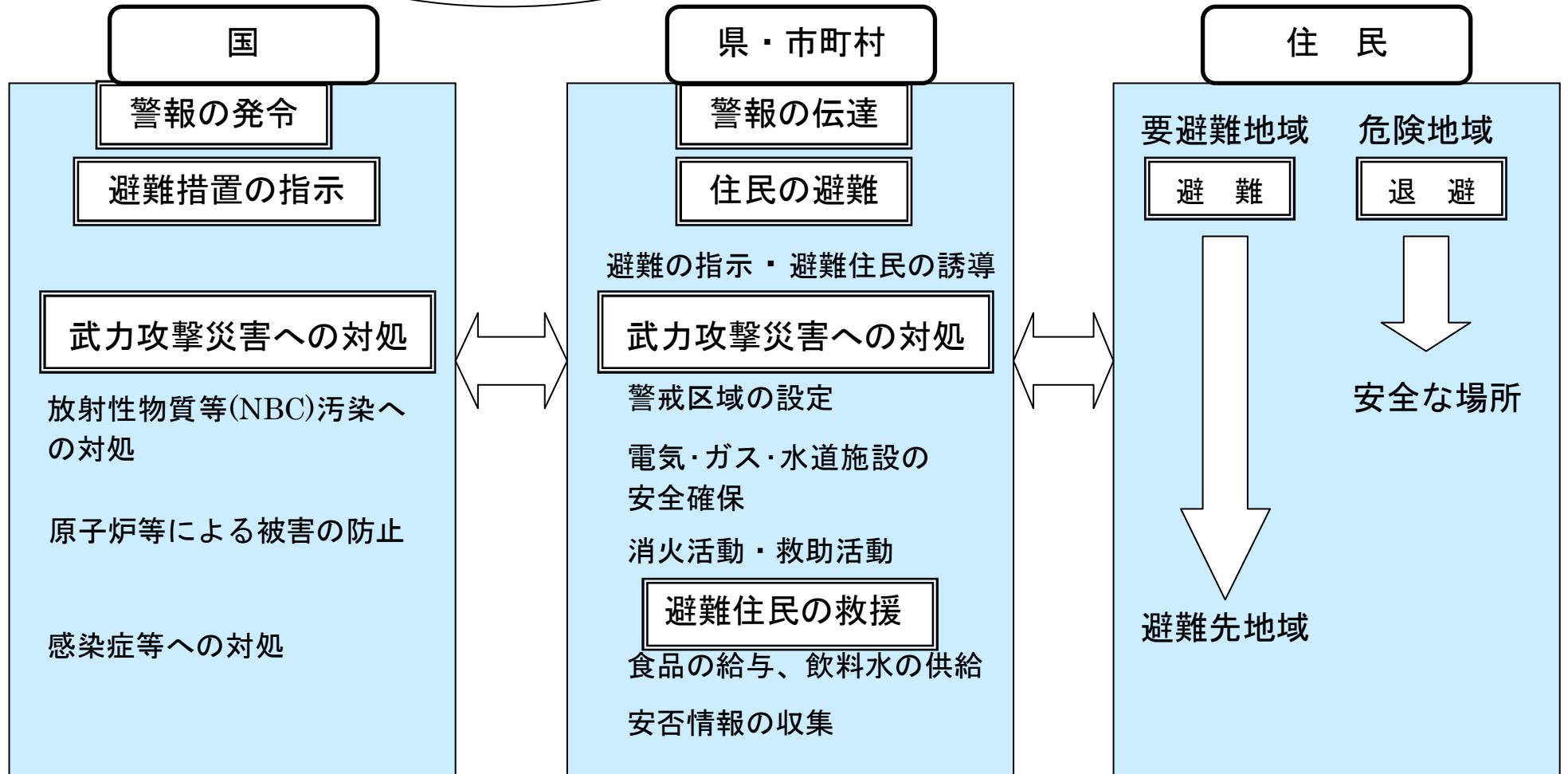
概要

平成19年5月

国民保護のイメージ

- ・地上部隊が航空機や船舶により着上陸侵攻
- ・ゲリラや特殊部隊による攻撃
- ・弾道ミサイル攻撃
- ・航空機による攻撃

武力攻撃発生



福井県国民保護計画の基本

○計画の目的

- ・ 武力攻撃から国民の生命、身体および財産を保護する
- ・ 市町村の計画や指定地方公共機関の業務計画の作成基準を示す
→ 県全体の態勢を整備し、国民保護措置を的確かつ迅速に実施

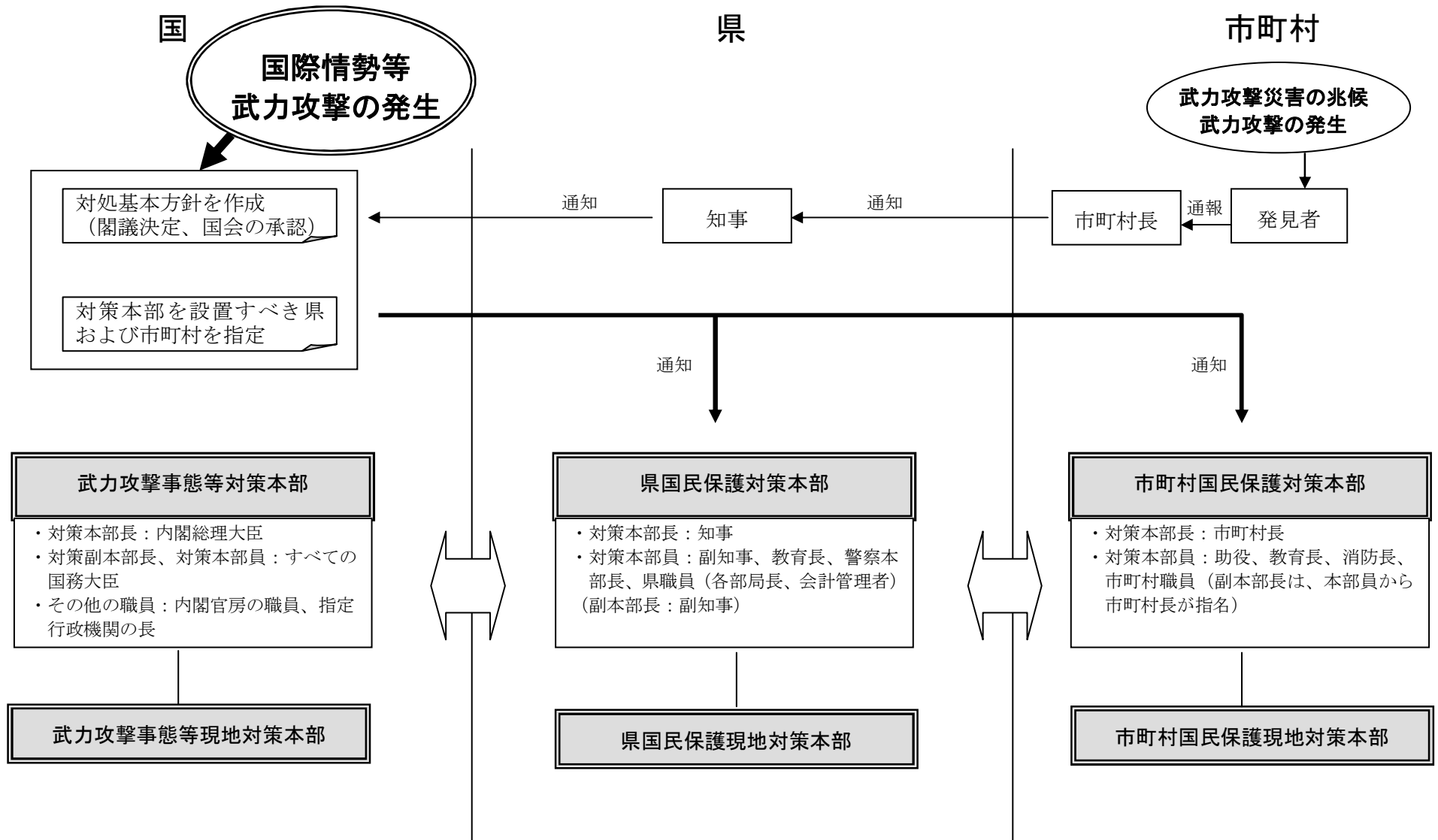
○基本的な考え方

- ・ 国民の自発的意思による協力、基本的人権の尊重、災害時要援護者への対応、初動時対応の充実、武力攻撃原子力災害への的確な対応、など

○計画の構成

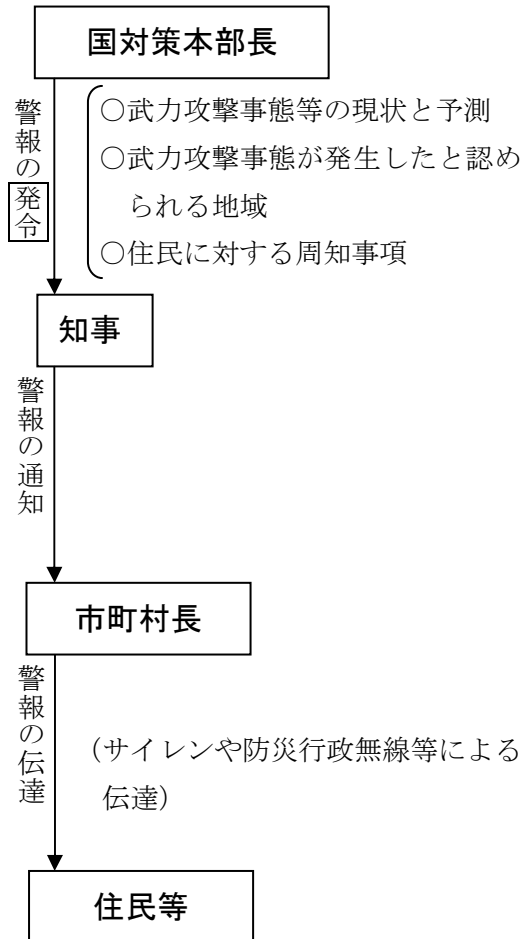
- | |
|---|
| ● 第1章 計画の全般…計画の基本、武力攻撃事態の類型、県、市町村等の責務等 |
| ● 第2章 平常時の備え…組織体制整備、訓練、備蓄、医療救護体制、災害時要援護者支援等 |
| ● 第3章 実施体制等…実施体制、広域応援、情報の伝達、住民に対する協力要請等 |
| ● 第4章 避難・救援…避難、救援、運送、交通対策等 |
| ● 第5章 災害への対処…応急措置、防疫、廃棄物対策、生活の安定等 |
| ● 第6章 原発への対処…基本方針、平常時からの備え、通報、応急対策等 |
| ● 第7章 復旧・復興…被災施設・被災地の復旧、生活の安定 |

実施体制

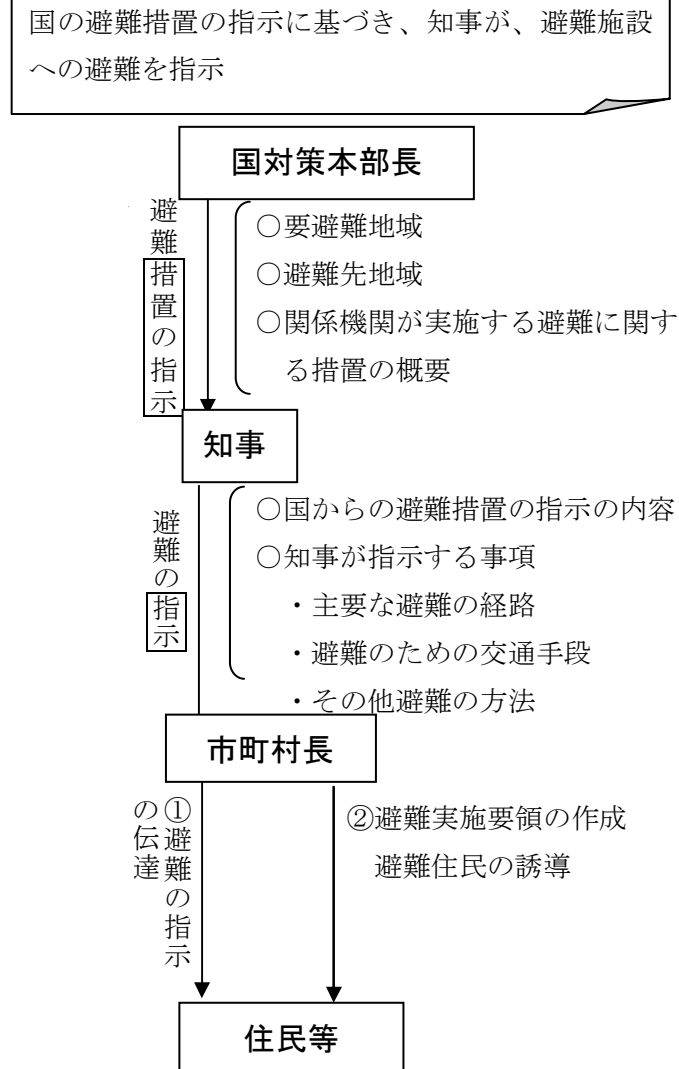


情報の伝達

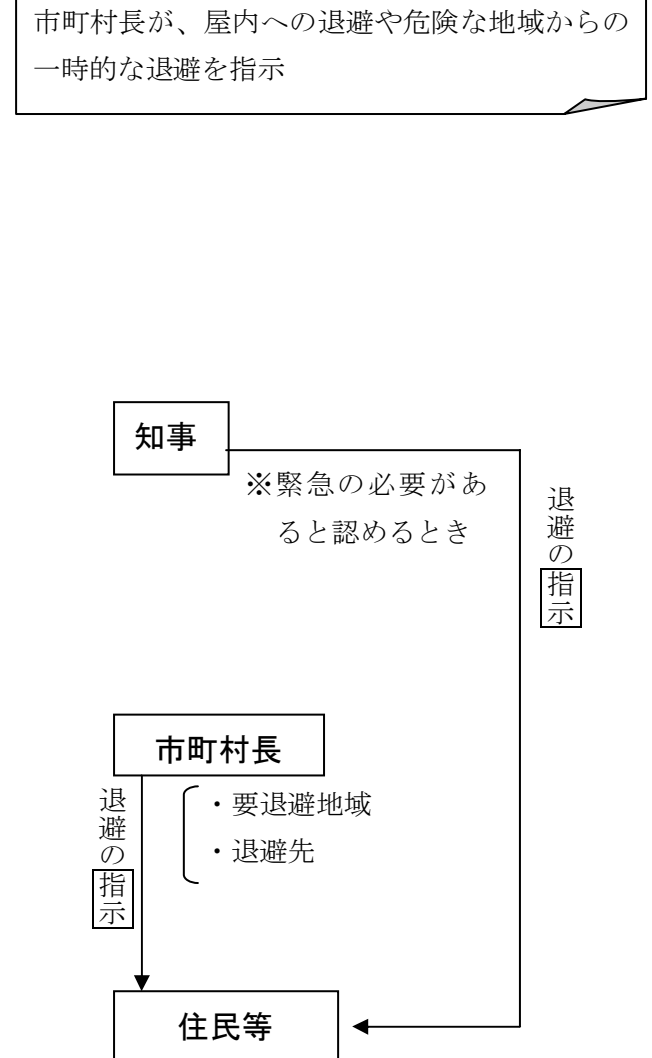
1. 警報の伝達



2. 避難の指示



3. 退避の指示

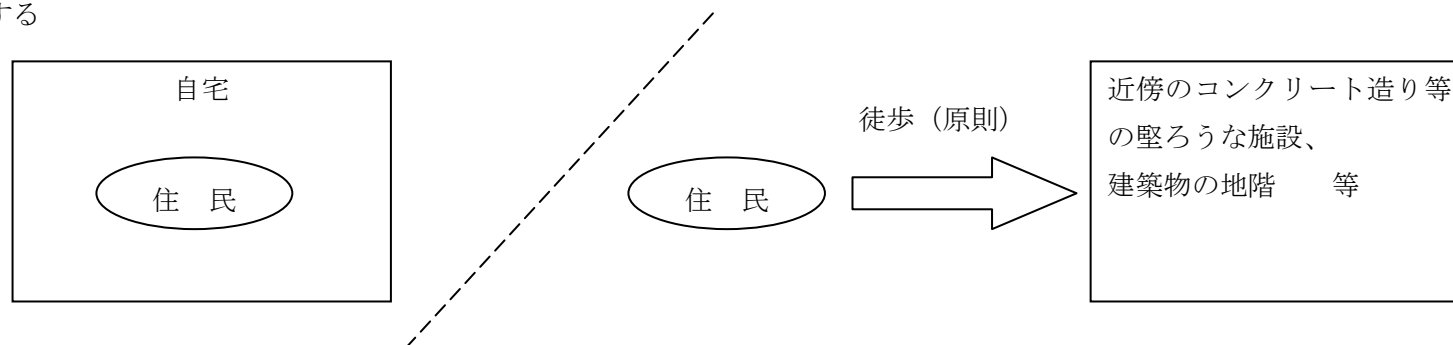


住民の避難

知事が市町村長を経由して住民に避難を指示

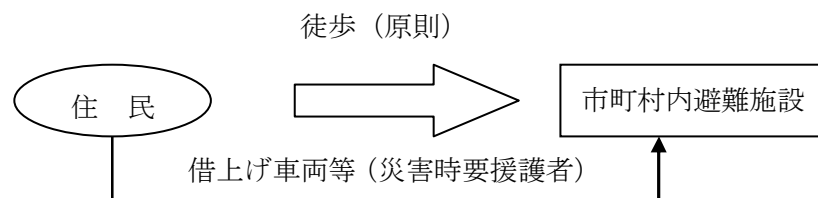
○屋内避難

- ・避難方法 徒歩を原則とし、できるだけ速やかに、屋内に避難する。その後、事態の推移、被害の状況等によっては、他の安全な地域に避難する



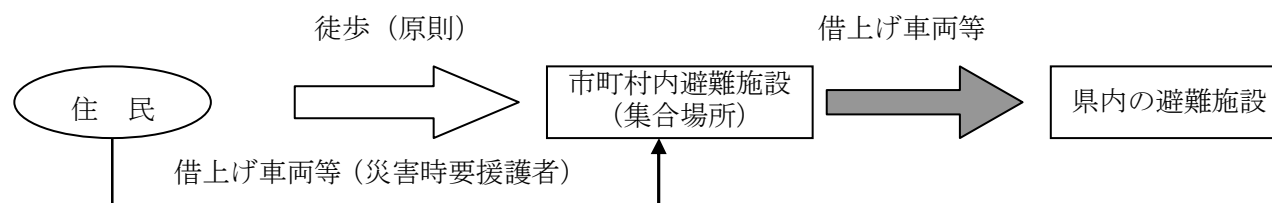
○市町村内避難

- ・避難方法 徒歩を原則とする。ただし、徒歩による避難が困難である災害時要援護者の避難に限り、バス等の借上げ車両および公用車（これらの車両を以下「借上げ車両等」という。）を補完的に使用する



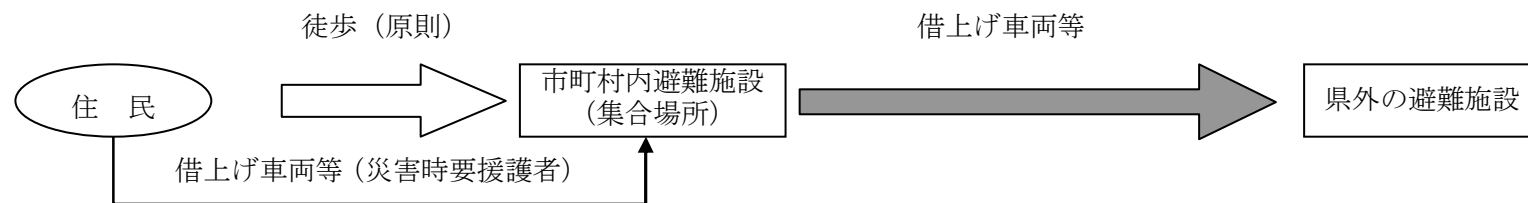
○県内避難

- ・避難方法 市町村内避難所への避難は市町村避難のとおり
市町村内避難所から県内の避難所までは、借上げ車両等を使用する



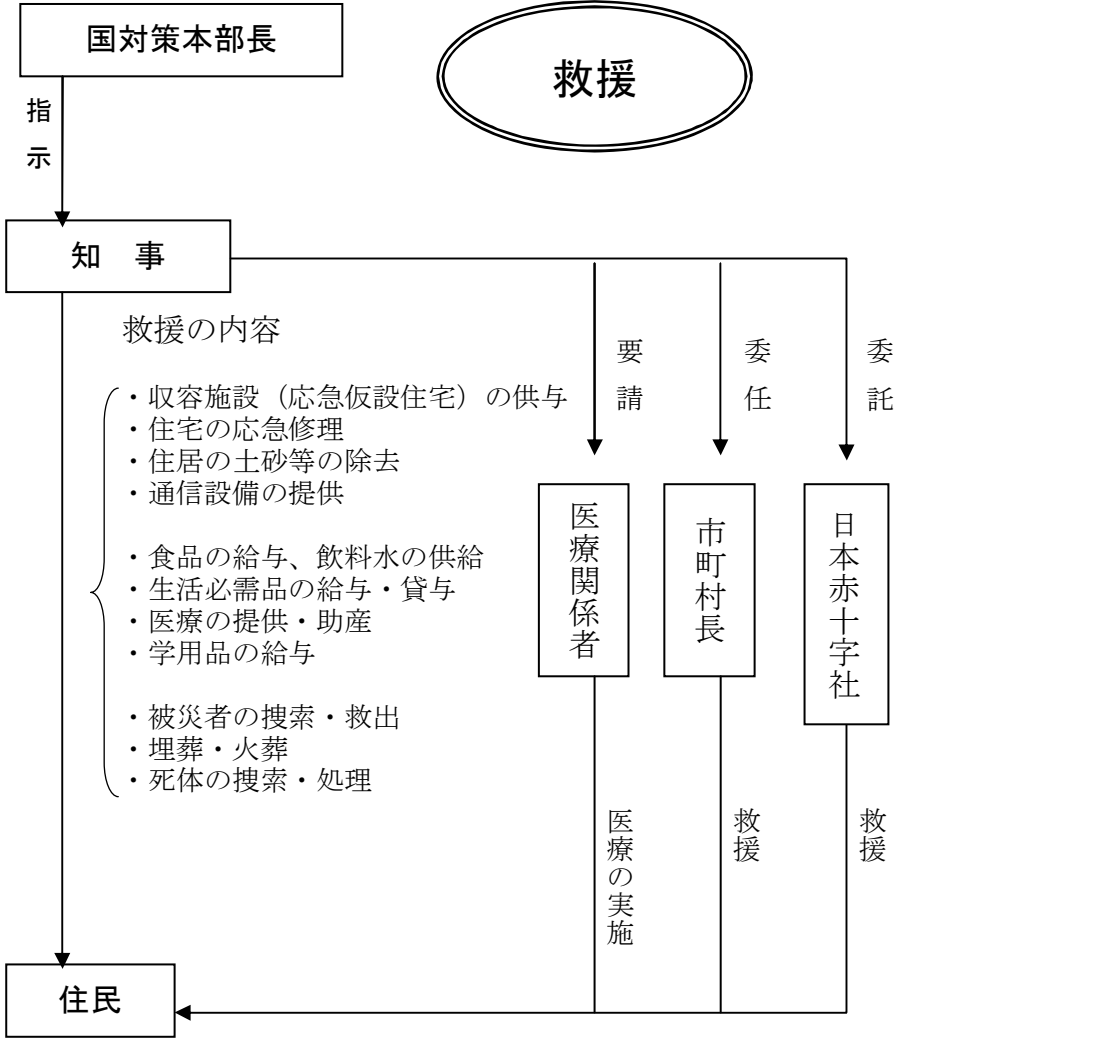
○県外避難

- ・避難方法 市町村内避難施設への避難は市町村内避難のとおり
市町村内避難施設から県外の避難施設へは、借上げ車両等を使用する



(必要に応じて避難先地域を管轄する近隣府県の知事に運送の応援を要請)

救援・復旧



復旧・復興

被災施設および被災地の復旧・復興

- ・ 公共土木施設・都市施設等の復旧
- ・ 大規模被災地の計画的復興

生活の安定

- ・ 住宅の確保
- ・ 雇用機会の確保
- ・ 被災者総合相談センターの設置
- ・ 金融措置
- ・ 流通機能回復等